

平成27年度 教育委員会の事務 に関する点検評価報告書



平成28年11月
海津市教育委員会

目 次

1 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）	
(4) 点検・評価結果の構成	
2 教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 会議の開催	
(2) その他の活動状況	
①教育委員の研修状況	
②教育委員の学校訪問等	
③総合教育会議への出席	
④教育委員の関係行事等への出席	
⑤広報活動	
3 「海津市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価	・ ・ ・ ・ ・ 7
(1) 海津市の教育理念	
(2) 計画の体系	
(3) 施策別評価	
4 外部評価（学識経験者による意見）	・ ・ ・ ・ ・ 35

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律^{※1}（昭和31年6月30日法律第162号）」が改正され、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することとされました。

このことから、海津市教育委員会は効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、平成20年度から学識経験者の知見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、海津市教育振興基本計画に掲げられた「基本施策」とし、それぞれの点検・評価は、事業の行程管理の把握と進捗状況を踏まえて行っています。

(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）

点検・評価は、平成27年度に実施した事業の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の課題と対応の方向性を示すことと致しました。

※評価の目安

- A…計画どおり又は計画以上の成果を得た
- B…概ね目標を達成できた
- C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から意見、助言をいただきました。

(4) 点検・評価結果の構成

ア. 基本目標

海津市教育振興基本計画に掲げる基本目標です。

イ. 施策

海津市教育振興基本計画の基本目標に掲げ、重点的に取り組む施策です。

ウ. 基本施策〔事業内容、実績、対象者等〕

各施策に掲げられた具体的な取り組み事項を示しています。

エ. 成果課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果及び課題等を示しています。

オ. 内部評価

計画目標に対し取り組みの進捗状況などを踏まえA～Cの3段階評価を行っています。

カ. 担当課

事業を実施した担当課等です。

※ 1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



2 教育委員会の活動状況

平成27年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」と「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

(1) 会議の開催

教育委員会会議は、原則として毎月1回の予定で開催することとして、平成27年度の開催は17回、付議された議案は合計104件に上りました。

以下、平成27年度の開催状況の詳細を報告します。

○平成27年度教育委員会会議の開催状況

回数	期 日	案 件
第1回	平成27年 4月 3日(金)	5件
第2回	平成27年 5月 8日(金)	20件
第3回	平成27年 6月 2日(火)	4件
第4回	平成27年 7月 8日(水)	1件
第5回	平成27年 7月16日(木)	2件
第6回	平成27年 8月 5日(水)	12件
第7回	平成27年 9月 4日(金)	3件
第8回	平成27年 9月18日(金)	1件
第9回	平成27年10月 2日(金)	1件
第10回	平成27年10月23日(金)	1件
第11回	平成27年11月10日(火)	11件
第12回	平成27年12月 4日(金)	6件
第13回	平成27年12月16日(水)	1件
第14回	平成28年 1月 7日(木)	11件
第15回	平成28年 2月 9日(火)	9件
第16回	平成28年 3月 7日(月)	9件
第17回	平成28年 3月25日(金)	7件
合 計		104件

ア 議案について

教育委員会の権限に属する事務の執行は、「海津市教育委員会教育長事務委任規則第2条※²」に掲げるものを除き、その権限を教育長に委任すると定められていますが、一方で、同規則第3条は委任された事務についても重要かつ異例の事態が生じたときは教育委員会の決定に委ねるとしており、実際には重要事項の多くは教育委員会の会議の場で決定され、平成27年度に付議された議案は全て会議規則に従い適切に処理されました。

また、議事の終了後には事務局各課から事業の実績、進捗状況及び計画等について報告又は説明を行い、今日的な教育課題への対応等、共通の認識を持ちつつ理解を深めることと致しました。

※2) 海津市教育委員会教育長事務委任規則 (抜粋)

(事務委任)

第2条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件1,000万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の任免その他の人事に関する
こと。
- (8) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員(臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。)の懲戒に関する
こと。
- (9) 1件1,000万円以上の工事の計画を策定すること。
- (10) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (11) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を市長に申し出ること。
- (12) 法律若しくは、これに基づく政令又は条例に基づき置かれている附属機関の委員
又は委員を委嘱すること。
- (13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (14) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (15) 公文書の公開の決定に関する
こと。
- (16) 個人情報の開示、請求及び削除の決定に関する
こと。
- (17) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規
定による点検及び評価に関する
こと。

イ 議事について

簡易な事務手続き等の案件を除き、条例や規則の改正或いは事業計画の承認等、重要事項の審議は、問題意識を共有して事業効果の高い結果が得られるよう、事務局に詳細な説明を求め、活発な議論が展開されました。

また、事務局は、資料の提示や詳細な説明等、より多くの情報提供に努め、メリハリのあ
る会議の運営に努めました。

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも研修や学校訪問等の実施或いは関連する教育団体との懇談などに参加しました。

①教育委員の研修状況

事業名	期 日	場 所	内 容
市外視察研修	平成27年10月2日 (金)	大垣市立 一之瀬小学校	・複式学級により運営を行っている学校を視察。
市内視察研修	平成28年2月9日(火)	(社福法)ちひろ会 庭田保育園	・私立保育園の現状を視察。

②教育委員の学校等訪問

教育委員会会議の開催に合わせて、平成27年度においては市内の小・中学校等を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校の良さや、抱えている課題などを把握することに努めました。

期 日	午 前	午 後
平成27年 5月13日(水)	城南中学校	高須認定こども園
平成27年 5月27日(水)	吉里小学校	西島保育園
平成27年 5月29日(金)	東江小学校	
平成27年 6月15日(月)	西江小学校	
平成27年 6月24日(水)	日新中学校	
平成27年 6月29日(月)	下多度小学校	下多度幼稚園
平成27年 9月30日(水)	大江小学校	
平成27年10月14日(水)	平田中学校	海西保育園
平成27年10月23日(金)	石津小学校	石津認定こども園
平成27年10月30日(金)	高須小学校研究発表会	
平成27年11月 6日(金)	今尾小学校研究発表会	
平成27年11月11日(水)	南濃中学校研究発表会	
平成27年11月19日(木)	海西小学校	今尾認定こども園
平成27年11月25日(水)	城山小学校	

③総合教育会議への出席

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成27年度から「海津市総合教育会議」を設置しました。会議は市長と教育委員会で構成され、互いが十分な意思疎通を図り教育課題を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するために市長が招集するもので、以下のとおり開催され出席しました。

回数	期 日	場 所	案 件
第1回	平成27年 6月 2日(火)	海津市役所	4件
第2回	平成28年 1月 7日(木)	海津市役所	3件

④教育委員の関係行事等への出席

期 日	行 事 等	場 所	
4月	3日(金)	小中学校教職員等着任式	文化センター
	6日(月)	小中学校入学式	各小中学校
	7日(火)	幼保認定こども園入園式	各幼保認定こども園
5月	30日(土)	運動会	高須小学校
6月	3日(水)	スポーツフェスタ	平田中学校
9月	12日(土)	運動会	下多度小学校
	17日(木)	体育祭	城南・日新中学校
		スポーツフェスタ	南濃中学校
	19日(土)	運動会	吉里・東江・大江・西江・今尾・海西・石津小学校
26日(土)	運動会	城山小学校	
10月	29日(木)	市小中学校音楽会	文化センター
1月	22日(金)	教育研究大会	文化センター
3月	7日(月)	卒業式	各中学校
	24日(木)	卒業式	各小学校
	25日(金)	小中学校教職員等離任式 幼保認定こども園卒園式	文化センター 各幼保認定こども園

⑤広報活動

定期的を開催する教育委員会会議をはじめとして、その主な活動は、海津市ホームページで公開しました。

今後もより一層、市民の皆様のご理解とご協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアの活用方法を工夫する必要があると考えています。

3 「海津市教育振興基本計画」に基づく事業の行程管理及び執行状況の評価

海津市教育委員会では、本市の教育行政について「どのようにしたいか。」また、「そのために何をすればよいか。」とその姿勢と政策の方向を明らかにし、より良い教育環境づくりを推進するために、毎年、リーフレット「海津市の教育」を作成してきました。さらに、平成26年3月にはその集大成といえる「海津市教育振興基本計画」を策定しました。

この報告書は、「海津市教育振興基本計画」の3つの基本的視点、6つの基本目標からなる重点施策ごとに点検・評価を行い、その取り組み状況や教育委員の意見を取りまとめたものです。

(1) 海津市の教育理念

【基本理念】

「いのち」をつなぐ教育

愛情と思いやりに溢れた一人一人の生命が
つながり生きる喜びを感じる教育

基本目標	施 策	基 本 施 策
良好な学校教育環境の整備・充実	就学前教育の充実	①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進
		②幼保小の連携強化
		③認定こども園、幼稚園、保育園の適正規模の推進
		④認定こども園、幼稚園、保育園での読み聞かせ
		⑤多様な保育サービスの提供
	学校教育の充実	①軸を明確にした学校経営の構造化
		②確かな学力を身につけさせ「生きる力」を育む指導の充実
		③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実
		④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実
		⑤学習意欲を高める指導や取組の充実
		⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫
		⑦特別支援教育に関わる教職員の研修
		⑧キャリア教育の推進
		⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進
	教育設備の充実	①学校施設の大規模改修の推進
②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進		
③エアコンの計画的整備		

	豊かな心の育成	①道徳教育の充実
		②多様な体験活動の推進
		③人権同和教育の充実
	教職員の資質の向上	①「海津市教育スタンダード」の構築
		②教職員研修の充実
		③研究授業や公開授業、交流授業等の促進
		④核となる人材育成の推進
	学校給食の充実及び食育の推進	①地域全体で取り組む食育の推進
		②学校給食の充実
		③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底
		④効率的な運用
	中学校の適正配置	①南濃町地内中学校適正配置の推進
②統合中学校校舎の整備		
生涯学習環境の整備・充実	生涯学習環境の充実	①学習ニーズの把握
		②学習環境の整備
		③学習情報の整備
		④地域住民が集う場の提供
		⑤施設環境の整備
	多様な学習機会の提供	①生涯学習活動と指導者の育成
		②生涯学習情報の共有
		③生涯学習の意識啓発
		④図書館や資料館等の学習機関の充実
新たな学習活動への支援	①高齢者の持つ技能の伝承	
	②学習活動を支援する人材の活用	
	③学習情報の提供方法の工夫	
青少年の健全育成	地域で進める青少年の健全育成	①「こども健全育成指針」の推進
		②組織的な活動の充実
		③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上
	家庭教育力の向上	①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進
		②子育て学習の提供と相談体制の充実
		③家庭教育学級の工夫・改善と充実
文化の振興	文化の継承と発展	①指定文化財の保存・保護、後継者の育成
		②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究
		③文化資源の活用
	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	①文化財の情報発信と周知
		②自然・歴史資源の発見と活用

	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	①市民文化活動への支援 ②文化や芸術に親しむ心を育む ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ④多様な芸術活動の支援
スポーツ活動の振興	スポーツ施設の整備と有効活用	①スポーツ施設の計画的な改修
		②スポーツ施設の長寿命化推進
		③スポーツ施設の利用促進
	スポーツ活動の充実	①スポーツ少年団の育成
		②市民参加型スポーツ活動の推進
		③高齢者や障害者スポーツ活動の推進
		④総合型地域スポーツクラブの支援
競技スポーツ活動の支援	①指導者の育成と確保	
	②選手の育成と強化	
地域間交流の推進	地域間交流の推進	①交流教育の充実

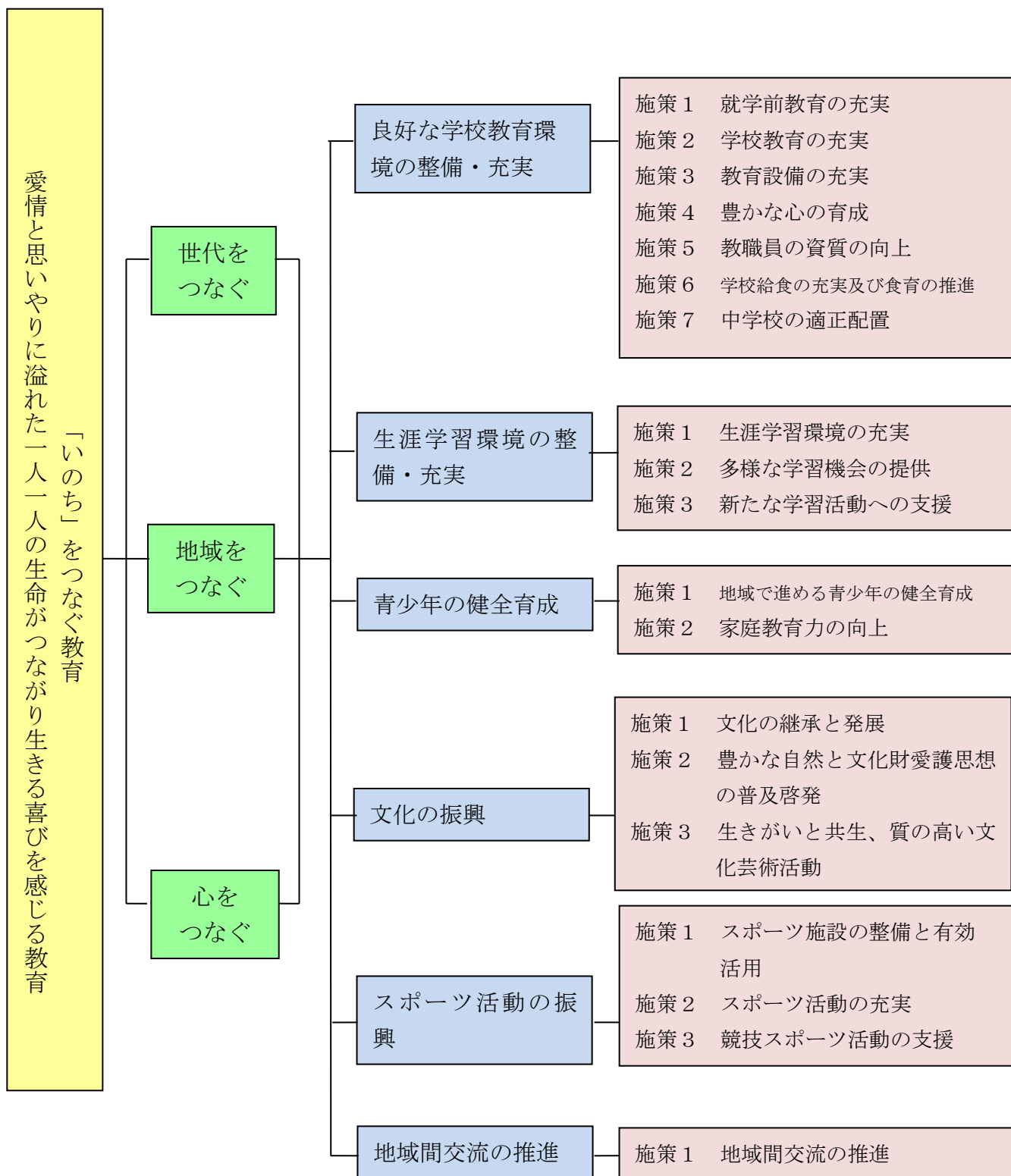


(2) 計画の体系

【基本理念】 【基本的視点】

【基本目標】

【施策】



(3) 施策別評価

基本目標		良好な学校教育環境の整備・充実
施策	就学前教育の充実	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもがのびのびと活動できる環境づくりや指導を行った。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼児教育・保育研究会のほか、各園ともに幼保小交流活動を実施した。</p> <p>③幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・少子化が進む現状を分析し適正規模の研究を進めた。</p> <p>④幼稚園、保育園での読み聞かせ ・各園で幼児教育・保育の一環として本の読み聞かせを行った。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・子ども・子育て新制度施行に伴い、子ども・子育てに関する事業を計画的に推進した。</p>	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・一人一人の発達に応じた環境整備と幼児期にふさわしい基本的生活習慣、規範意識、道徳性が身につくよう指導を行い、幼児教育の推進が図れた。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・幼保小連携協議会の開催のほか、幼児教育保育研究会を5回開催して、アプローチカリキュラムを作成するなど、幼保小の連携が図れた。また、各園では、さつまいも収穫や運動会への参加など小学校との交流を深めた。</p> <p>③幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・少子化が進む現状を分析し適正規模の研究を進めた。</p> <p>④幼稚園、保育園での読み聞かせ ・発達段階にあった読み聞かせを行い、幼児期からの本への親しみや読書習慣を身につけさせることができた。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、預かり保育・地域子育て機能等の拡充を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもたちを主体的に考え、質の高い教育・保育を推進していくため、更なる保育士の資質向上を図る必要がある。</p> <p>②幼保小の連携強化 ・小学校へのスムーズな移行に向け、更に、小学校と園の交流を深める必要がある。</p> <p>③幼稚園・保育園の適正規模の推進 ・「海津市公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の少子化の動向を踏まえ、適正な規模・必要性を検討し、統廃合を進めていく必要がある。</p> <p>⑤多様な保育サービスの提供 ・保育サービスのニーズに応えるために、保育士の増員が必要である。</p>	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	こども課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施策	学校教育の充実
基本施策 事業内容 実績 対象者等	<p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校にて学校経営全体構想を作成し、教育委員訪問にて、校長より説明 <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校にて研修計画を作成。主題設定及び具体的計画をもとに、学年部会、教科部会等で共通理解、共通実践を図った。 <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市統一テスト（小学校5年生・中学校2年生）の実施及び結果分析 ・算数、数学においては、少人数指導及びT. T（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導を図った。 ・小学校では、専門的な指導の充実を図るため学校の実態に応じて教科担任制を導入した。（社会、理科、算数等） <p>④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L T（外国語指導助手）を配置して、英語や外国語活動における児童生徒のコミュニケーション能力の向上に努めた。 ・朝読書の時間の確保や学校図書館の積極的な活用などを行い、西濃地区学校図書館教育賞に応募した。 <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や体験活動の機会を増やし、児童生徒の学習に対する興味・関心が高まるように努めた。 ・大型TVモニターを全ての学校に1台導入した。 ・全小学校に、デジタル教科書を導入した。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課、発達支援センターや幼保、学校等が密接な連携を図り、一人一人の実態及び教育的ニーズをしっかりと把握した。 <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校にて、特別支援教育コーディネーター等を中心に、計画的に特別支援教育に関する研修を実施した。 ・市としての「教育支援の手引き」を作成した。 <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・86の市内事業所にて、中学校2年生生徒314人が職場体験学習を行った。 <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集委員により、「海津市郷土学習の手引き（自然編）」作成のための資料収集、編集作業をした。 ・各校版の防災ノートを配布し、活用した。

<p>成果課題等</p>	<p>【成果】</p> <p>①軸を明確にした学校経営の構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の学校経営方針に基づき、教職員が共通理解して取り組んでいることが、児童生徒の生き生きとした姿につながっていた。 <p>③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市統一テスト及び全国・県の学力・学習状況調査から、結果分析を行い、授業改善等に取り組むことができた。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の実態に応じた指導をより丁寧に行い、児童生徒が安心して学習に臨むことができた。 <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々受入事業所が増えてきており、地域におけるキャリア教育への理解が深まってきている。 <p>⑨郷土学習の推進及び防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校版の防災ノートを活用し、災害に適切に対応する能力を身に付けられるように段階的な指導ができた。 <p>【課題】</p> <p>②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の学力向上指導改善プランに基づき実践していくことが必要である。また、教師が教材研究を丁寧に行い、児童生徒、教師にとって楽しい授業をつくっていくことが何よりも大切である。 <p>⑤学習意欲を高める指導や取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の有効な活用方法について、研修会を実施するなどして、より一層の充実を図っていく必要がある。 <p>⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、市費の支援員等の増員や指導法の工夫改善のためのニーズに応じた教員研修の充実が必要である。 <p>⑦特別支援教育に関わる教職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員研修はもちろんのこと、教育支援の手引きを活用して研修等に生かして組織で対応できる学校体制作りが必要である。 <p>⑧キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の数が増えていることに反して、生徒数が減少しており、生徒の希望の取り方、生徒のニーズに応じた事業所への依頼などを検討する必要がある。 	
<p>内部評価</p>	<p>B</p>	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
<p>担当課</p>	<p>学校教育課</p>	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施策	教育設備の充実	
基本施策	①学校施設の大規模改修の推進 ・平田中学校大規模改造工事に伴う実施設計を行った。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・城南中学校南舎にエレベーターを設置した。 ③エアコンの計画的整備 ・城山小学校の空調設備改修工事を行った。	
〔事業内容 実績 対象者等〕		
成果課題等	【成果】 ①学校施設の大規模改修の推進 ・平田中学校大規模改造工事に伴う実施設計を行った。 平田中学校は昭和 57 年に建築され、経年により学校建物の損耗、機能低下がみられた。教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため、大規模改造工事に伴う実施設計を行った。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・新たに建設した城南中学校の南舎（2 階建て）にエレベーターを設置した。 ③エアコンの計画的整備 ・城山小学校のエアコン改修工事を行った。 これにより、小学校 10 校すべての学校で空調設備の設置が完了した。 【課題】 ①学校施設の大規模改修の推進 ・国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、計画的に小中学校の大規模改修を行っていく必要がある。特に、中学校（日新、平田）は早い時期に改修する必要がある。 ・非構造部材の耐震診断業務の結果に基づき、改修工事を行うとともに国の補助金等の活用により大規模改修工事を進める必要がある。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ・児童生徒に支援が必要な場合は、計画的に改修を進めていく。 ③エアコンの計画的整備 ・小学校の空調設備についてはすべての学校で設置が完了したが、中学校に関しては、城南中学校以外は整備されていない。今後は、国庫補助や既存設備の補助年限との関連も見極めながら、校舎の大規模改修工事と併せてエアコンの改修工事をする必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	教育総務課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
施策	豊かな心の育成	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧南濃町の5校の道徳教育計画訪問が行われた。 <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の実態に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動など教育活動全体を通じて、自然体験、社会体験、ボランティア体験、異学年や高齢者との交流活動などの体験的・実践的活動を推進した。 <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重と人間平等の基本理念を確立するとともに、日常生活に潜在する差別や偏見の解消に努めた。また、地域ぐるみで人権教育を推進した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①道徳の授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が仲間と関わり合いながら学んだり、資料に登場する主人公の心情を多面的に考えたりと、道徳の時間に主体的に取り組む姿が見られた。 <p>②多様な体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学校もできる限りの体験的な活動を位置付け、児童生徒が主体的に取り組めるように指導した。 <p>③人権同和教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校では、挨拶運動や友達への感謝の思いを伝え合う活動、よさを認め合う活動等を通して、意図的・計画的に人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを進めた。 <p>【課題】</p> <p>①道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態把握を大切にし、道徳の時間のねらいをさらに明確にしていく必要がある。 ・道徳教育は、全教育活動の中で行われるものであり、各教科、領域との関連を明らかにした指導を大切にすることが必要である。 ・「特別の教科 道徳」への移行をふまえ、「考える道徳」「議論する道徳」へと転換を図る必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施策	教職員の資質の向上	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員学校訪問では、各学校が学校スタンダードを紙面で示し、本訪問の主張点を明らかにした。 <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津市教育研究所を核として、教職員の経験や時代の変化に応じた研修を行った。(情報モラル、特別支援教育、人権同和教育など)。 <p>③研究授業や公開授業、交流授業等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学説明会を市内同時開催し、小・中の連携を図った。 <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手人材養成研修、中堅幹部研修を各年4回開催し、各学校のリーダーとして必要な資質について研修した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「海津市教育スタンダード」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校スタンダードを構築し、共通理解を図った教職員の言動や児童生徒の姿から定着してきていることがうかがえた。 ・各学校で作成された「学校スタンダード」の交流を教務主任会等で行い、各校の実践状況が把握できた。 <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ研修会とならないよう、講師の選定や内容について吟味することができ、充実した研修が開催できた。 <p>【課題】</p> <p>②教職員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市在住の教員の占有率が低く、3年以内で転出する教員が多い。また、30代前半までの教員と50代の教員が多いことから、将来を見据えた地域の教員の育成が急務である。 <p>④核となる人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての魅力や資質能力を高める研修の充実を図るとともに、学校等のニーズに応じた研修を実施する必要がある。 ・勤務の適正化に向けた取組を実施し、より児童生徒にかかわる時間を確保する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校教育課、教育研究所	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施策	学校給食の充実及び食育の推進
基本施策 事業内容 実績 対象者等	<p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内農産物を給食献立へ積極的に取り入れた。 ・生産者や委託業者と連携した食育活動を行った。 ・保護者や地域への情報発信、啓発活動を行った。 <p>②学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消献立、日本各地の郷土料理、外国料理、時代の要請に即した献立を実施した。 ・献立打合せ会の充実を図った。 <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者と連携した衛生管理と事故防止の徹底に努めた。 <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行った。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①地域全体で取り組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内農産物（きゅうり、トマト、なす、南濃みかんなど）を定期的に給食献立に取り入れ、地産地消の良さを献立表に掲載したり、学級活動や教科、総合的な学習の時間などの場で紹介できた。また、機会をとらえ、生産者や委託業者と連携した食育活動（月2、3回）や、保護者対象の給食試食会（年間15回）などを実施し、情報発信や啓発に努めることができた。 <p>②学校給食の食事内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献立の打合せ等十分に検討を行い、地産地消を進める「食育の日」献立（毎月19日）のほかに、「海津の食材の日」献立（毎月1日）を定め実施した。また、日本各地の郷土料理、外国料理、防災や復興支援、健康増進など時代の要請に即した献立も実施し、「給食がおいしい。毎日が楽しみ。」といった声も多く聞かれ、食事内容の充実を図ることができた。児童生徒の残食率は、給食センター開設から7年経過したが、当時から比べると、小学校は、平均8%から平均3%に減少、中学校は、平均3%から平均1%に減少している。 <p>③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の衛生管理は、作業前の個人衛生チェック、朝礼・昼礼・終礼での連絡、報告、反省会など、日常的に指導や注意喚起がなされている。また、月1回の衛生教育と同時にテストの実施、年2回の安全担当責任者（ATS）による衛生教育も行われており、事故防止の徹底に努めることができた。

	<p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者では、電気・ガス・水道水等の適正な使用とその削減をQC（クオリティ・コントロール、品質管理）活動に位置づけ、周知徹底されており、光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行うことができた。 <p>【課題】</p> <p>①地域全体で取組む食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先的に市内農産物を使用することを心掛けているが、生産・使用時期、生産・使用量、調理方法等の問題が多く、毎年、全体使用量の5%程度に止まっているため、生産者や取扱業者とのより一層の連携を図り、地産地消を推進していく必要がある。 <p>④効率的な運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と委託業者と連携を密にし、安心・安全で、よりおいしい給食を提供するための工夫や改善、従業員の調理技術の向上を働きかける必要がある。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	学校給食センター	



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施策	中学校の適正配置	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海津市南濃町地内中学校統合委員会」（以下「統合委員会」という。）において校歌を決定した。なお、2校（南濃中・城南中）合同合唱交流会（H27.11.18開催）において校歌の披露を行った。 <p>②統合中学校校舎の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南中学校南舎の建設を平成26年度と平成27年度の2ケ年かけて工事を行い、平成27年8月21日に竣工式を行った。また、統合に向け既存校舎である北舎の改修工事及びテニスコート等外構整備工事も併せて行った。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度までに校名、校章をはじめ制服、体操服、カバン、靴等、生徒が日々使用する物について決定した。平成27年度では、校歌を完成することができた。 ・統合後の通学手段として養老鉄道を利用し通学する生徒のため、石津駅及び美濃松山駅に中学生用の駐輪場を整備した。また、併せて通学路の点検を行い危険箇所について整備した。 <p>②統合中学校校舎の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校敷地内において、南舎建設をはじめ北舎改修工事、外構工事など、至る所で工事を行ったが、基本は夏休みを中心に工事を進めたことにより、学校の管理運営上、生徒に支障を来たことなく工事を進めることができた。 <p>【課題】</p> <p>①南濃町地内中学校適正配置の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合中学校開校後、生徒が安心して通学できるよう通学路等の環境を整備する必要がある。 <p>②統合中学校校舎の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合中学校開校に併せて、南舎建設、北舎等の改修工事が完了し目的は達成することはできた。今後、学校の管理運営上、見直しの必要が生じた時は計画的に整備をする必要がある。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	教育総務課	

基本目標	生涯学習環境の整備・充実
------	--------------

施策	生涯学習環境の充実
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児講座・子ども教室・高齢者学級・成人講座・公開講座・女性セミナー・情報講座などに加え、今年度よりキッチン大学講座を開講した。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動ができ、集う場として活用できる施設を優先的に確保した。 <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報の一元化に努め、情報の集約を図った。 <p>④地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等施設の共有部分（ロビー）等について開放を図った。 <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターの電源・空調設備、ふれあいセンターの屋根・外壁、文化会館のトイレ等の改修・海西公民館の耐震診断を実施した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存講座の見直しだけでなく、新たにキッチン大学講座（男性料理・異国食料）の開設など、興味をもてる学習内容をテーマにするなどして、受講者が満足できる学習環境の充実が図れた。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設予約においては、本課が管理する施設での主管する学習講座やサークル活動について、優先的に部屋の利用を確保するシステムにした結果、継続的な活動に支障がなくなった。 <p>③学習情報の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報は「生涯学習の冊子」にまとめ、全世帯に配布している。また、同時にインターネットでも同様の内容を公開することで、幅広く周知を図るとともに、異なる情報で混乱が起きないようにできた。 <p>⑤施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化による改善工事や不具合箇所の修繕など、より安心して快適に施設利用をして頂けるよう配慮した。 <p>【課題】</p> <p>①学習ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人講座では受講者の減少が見られる講座もあるので、市民の要望も踏まえながら、時代に即した講座との入れ替えを図っていく必要がある。 <p>②学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本課が管理する施設は市内各所に有り、市民が十分に活動できる場を提供している。しかし、嘱託職員やシルバー委託の関係もあって、夜間に施設が閉まっており予約者に迷惑をかけることがあるため対応を考える必要がある。

	<p>④地域住民が集う場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が気軽に参加できる講座開設及び展示の場の提供などが必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実
------	--------------

施策	多様な学習機会の提供
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習を通じて心豊かに多様な学習活動ができるよう、様々な学習機会の提供を図るとともに、指導者の発掘・育成に努めた。 ・ボランティア講師の登録制度の充実と活用を図った。 <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報の内容をわかりやすくまとめ、公開方法の工夫を図った。 <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上を図るために受講生に講座のあり方について周知を図った。 <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能舞台を利用した「海津の能」・「狂言」の上演を実施した。 ・「低地のくらし」をテーマに堀田を利用した体験学習などを実施した。 ・雑誌情報を始め、ブックスタート・読み聞かせ会など読書支援を図った。また、子ども読書活動推進計画、読書通帳の推進を図り学習意欲の充実に努めた。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講師会を開き、再登録の有無と具体的な指導内容を再確認し、実践的なボランティア学習講座の開講をすることができた。 <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習情報は、様々な関係機関により趣味・教養・文化・健康・まちづくり講座などを開設しているため、その情報の共有を図るため「生涯学習の冊子」にまとめることにより、一元的な学習情報の提供ができた。 <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集用紙にその講座の目的や意義を説明したり、受講時にはその講座の有効性を説明したりすることを通して、生涯学習への意識啓発を図ることができた。 <p>④図書館や資料館等の学習機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、読書通帳の普及や図書強化により図書館カード登録者が新規で350人の増加、資料館では、展示施設「堀田」を利用した体験学習など市内の小学生を対象に郷土に触れる学習ができた。また、「海津の能」「狂言」に約400人の来館者があった。 <p>【課題】</p> <p>①生涯学習活動と指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録を受け付け、全世帯配布の生涯学習の冊子に掲載し、サークル活動の支援に当たっている。サークルは中高年対象のものが多く、学齢期の

	<p>児童生徒や若者のサークルを充実させるために、子どもの講座をサークルに移行するなど、充実に向けた工夫をする必要がある。また、指導者については、学習活動に接する機会を提供しながら育成する必要がある</p> <p>②生涯学習情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の情報に止まらず、大学や関係機関など学習情報を共有する必要がある。 <p>③生涯学習の意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な会の折に、講座の紹介や生涯学習への啓発をするなど、そのような場を増やしていく必要がある。 <p>④図書館や資料館等の学習機関の機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館では、子ども読書活動推進計画に基づき利用者サービスの向上、また、海津図書館・平田図書館・南濃図書館の機能再編や、資料館では、専門性の高い学習施設として機能充実を図るため、今後のあり方を検討する必要がある。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、図書館、歴史民俗資料館	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実	
施策	新たな学習活動への支援	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①高齢者の持つ技能の伝承 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の登用を行い、人材を活用した学習講座を開講、また、子どもを中心とした「ふるさと楽校」里山体験講座も実施した。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・冊子の配布方法や情報提供の方法の改善を図るよう努めた。	
成果課題等	【成果】 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の意思確認を行い、積極的に講座の開設を行い、地域住民に還元できる環境づくりと人材の確保が図れた。 ・ボランティア講師の登用による「ふるさと楽校」を3回開講し、自然体験をテーマとしたふるさと学習を推進できた。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・「生涯学習のご案内」の冊子を全世帯に配布するだけでなく、ホームページでも講座の内容を紹介することにより、学習情報の改善が図れた。 【課題】 ①高齢者の持つ技能の伝承 ・学校教育では、祖父母参観や総合学習時にそのような取組が実施されているが、社会教育課としては、 小 中学生を対象に昔から伝わる伝統技能の伝承と実技指導ができる講座の立案など、高齢者の持つ技術によるふるさと学習を計画的に取組む必要がある。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師という人材を活用できる、更なる学習活動の企画・計画が必要である。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・より見やすい冊子やホームページづくりをしていく必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
------	----------

施策	地域で進める青少年の健全育成	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題協議会で策定した指針により、市民ぐるみの健全育成を図った。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会議・青少年推進員活動・子ども会活動・スクールボランティア等による見守り活動・市民運動など、健全育成活動の情報共有を図った。 ・情報モラルアンケートが市PTA連合会により実施された。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会大会・ジュニアリーダー研修会等を実施した。 ・サポートリーダー養成講座・家庭教育講演会を開講した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の推進にあたり指針を提示し、青少年活動の推進が図れた。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年推進員会活動や子ども会活動を円滑に運営することができた。また、市民会議での実践活動発表を通じ、青少年活動を広く紹介することができた。また、市民運動である「あったかい言葉かけ運動」が展開できた。 ・情報モラルアンケートにより多くの課題を共有できた。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講演会などを開催し、青少年活動についての資質向上が図られた。 <p>【課題】</p> <p>①「こども健全育成指針」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も青少年に関わる全ての関係機関が参加し健全育成が図れるよう、市域全体の指針を作り上げる必要がある。 <p>②組織的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年に関わる団体間の横のつながりを図る必要がある。 ・情報モラルアンケートを受けて具体的な対策を講じる必要がある。 <p>③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会大会では、大人のマナーの悪さが目についた。大人が子どもの手本となるよう、親の教育が必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
------	----------

施策	家庭教育力の向上
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にこにこ子育て支援事業による講座・研修・相談事業等の推進を図った。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学時検診時に入学前の親育ち講座の開講、保健師、教育相談員等による相談体制の充実など、様々な状況にある親のための学習機会を提供した。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のすべての園・学校で家庭教育学級を開講し、子育てやしつけを気軽に語り合える場や研修会を実施した。
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭教育支援事業の推進により、基本的な生活習慣を整えるだけではなく、思いやりの心を大切にできる、「あ（朝ごはん）・た（時間）・り（読書）・ま（マナー）・え（笑顔）」を意識した親子関係の構築ができた。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前の親育ち講座では、各小学校で講師が前年度と同一にならないように、前年度のアンケートも踏まえ、講座がマンネリ化しないような配慮ができ、子育て不安の軽減が図れた。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立の園も含めて参加していただき、家庭教育学級の充実が図れた。 <p>【課題】</p> <p>①「あたりまえ」のことができる家庭教育支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援事業（にこにこ子育て支援事業）については、支援策の再確認をすることにより質の向上・周知の方法、事業の必要性を検証する必要がある。 <p>②子育て学習の提供と相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談体制の充実」では、自閉症など障がいのある子どもの交流に偏りがちではあるが、今後も、民生主任児童委員や主幹教諭にも出席要請をして、更にレベルアップした幅広い相談体制強化が確立できるようにしていく必要がある。 <p>③家庭教育学級の工夫・改善と充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のすべての園・学校に参加していただけるよう、会の趣旨を理解いただけるように説明する必要がある。

内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	社会教育課	



基本目標	文化の振興	
施策	文化の継承と発展	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①指定文化財の保存・保護、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財保護として保存継承に2件、保存経費に2件補助した。 ・第7次円満寺山古墳群範囲確認調査・1号墳周辺整備工事を実施した。 ・国天然記念物「津屋川水系清水池ハリヨ生息地」保存管理計画を策定した <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内にある近代和風建築物の2次調査（3件）が実施された。 ・早川邸の記録保存調査（27.28年計画の初年）を実施した。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史の教育資源を活用した小中学校出前講座を開設した。 ・歴史資源を活用した遺物・遺品の展示及び公開 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①指定文化財の保存・保護、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円満寺山古墳2・3号墳が調査により規模・概要が明らかになった。 ・ハリヨの事前調査結果を基に管理計画の理念と方針が確定された。 <p>②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代和風建築物（3件）の概要及び文化財価値評価がより明確になった。 ・早川邸については、国指定物件に値する評価をいただいた。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資源を活用した出前講座により文化財の価値観を高め、ふるさとに誇りをもてる文化遺産の公開など、地域振興を努めることができた。 <p>【課題】</p> <p>①指定文化財の保存・保護、後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果の報告書作成と調査結果を踏まえた、中長期的な保存整備計画を再考していく必要がある。また、ハリヨの保存管理計画は策定されたが、更なる計画的な調査研究、保存整備が必要である。また、保存管理を運営するべく管理体制を整える必要がある。 <p>③文化資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる文化財資源の発掘や価値観を高める必要がある。 ・蓄積された歴史研究資料を活用しての企画展示等をする必要がある。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興
------	-------

施策	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	<p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとおもてなし隊との連携による郷土の案内を実施した。 ・郷土の歴史資源を活用した歴史探訪を実施した。 ・歴史講演会「高須松平家の成立と尾張徳川家二代光友」・「幕末 高須四兄弟」の講談を開催した。 ・ふるさと海津「歴史をつくった人々」を新刊した。 <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種講座のカリキュラムの中に取り入れた学べる機会の創出として養老山地と木曾三川が織り成す自然や産業など歴史資源の情報発信を図った 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡巡りなどを実施し郷土の歴史を紹介できた。 ・歴史講演会の開催により松平高須藩三万石の顕彰と高須藩四兄弟についてより学べる機会の充実を図り、講演会では約460人の拝聴者があった。 ・歴史探訪により、広く一般市民に郷土の文化資源を紹介できた ・人物誌の刊行により海津の先人顕彰が図れた。 <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土文化の情報発信により、より多くの分野で多種多様な歴史資源の創出やふるさとを見つめ直す新たな発見ができた。 <p>【課題】</p> <p>①文化財の情報発信と周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なるふるさと地域資源の発掘が必要である。 資料館については、郷土に伝わる史実及び新たな歴史資源の掘り起こしなど、資料研究の充実を図る必要がある。 ・ふるさとおもてなし隊との連携強化を図る必要がある。 <p>②自然・歴史資源の発見と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の歴史を紹介し学べる機会の創出など活用方法の再考が必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興	
施 策	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①市民文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会への補助を行った。 <p>②文化や芸術に親しむ心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団はぐるま「銀のロバ」の公演を実施した。 ・小学3.4年生を対象に「スチールパンオーケストラ」公演を実施した。 <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民創作ミュージカル「五色の糸と機織りの唄」の公演を実施した。 ・市民創作ミュージカルアウトリーチを実施した。 <p>④多様な芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術作品にふれあう機会場の場として文化展を開催した。 ・さまざまな芸術活動の発表の場を提供した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①市民文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が自主的に参加できる団体として内容の充実が図られた。 <p>②文化や芸術に親しむ心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生の舞台芸術「銀のロバ」では約400人の来場者、小学生を対象にした「スチールパンオーケストラ」では約700人が参加した。 <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業として取組みを始めた市民創作ミュージカルの公演、アウトリーチの公演で約1,200人の来場者があった。 <p>④多様な芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化展では、1日あたり約300人の来場者があった。 <p>【課題】</p> <p>①市民文化活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の伸びが鈍化しているため協会加入への呼びかけが必要である。 <p>②文化や芸術に親しむ心を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生の舞台芸術に親しむ機会を与えるため計画的な予算確保が課題である。 <p>③市民参加型による芸術創作活動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる市民劇・合唱団等、市民が参加しやすい創作活動が必要である。 <p>④多様な芸術活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者及び出展者が参加・来場しやすい企画の工夫が必要である。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	スポーツ施設の整備と有効活用	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①スポーツ施設の計画的な改修 ・南濃体育館の耐震補強等の改修工事を実施した。 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・海津グラウンド高圧受電設備改修工事の実施、及び海津テニスコートの改修のため実施設計を行った。 ③スポーツ施設の利用促進 ・施設のPR促進と、有効活用のため毎月調整会議を行った。	
成果課題等	【成果】 ①スポーツ施設の計画的な改修 ・南濃体育館の耐震補強等の改修工事を行った。 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・海津テニスコートの改修（人工芝化）のため実施設計を委託した。平成28年度において改修工事を予定。 ・海津グラウンド高圧受電設備の取替工事を実施した。 ③スポーツ施設の利用促進 ・海津・平田・南濃にてそれぞれ月1回開催していた体育施設等利用調整会議を、海津市文化センターにおいて毎月第1木曜日1回に変更し、体育施設等利用者の利便性を図った。 【課題】 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・平田体育館の耐震補強や海津テニスコートの改修の必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	スポーツ活動の充実	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたスポーツ少年団を育てるための、団員及び指導者の育成に努めた。 <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等との連携による市民参加型スポーツ行事を開催した。 <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくスポーツに親しむ機会を提供した。 <p>④総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツクラブの支援と市民のスポーツ活動への参加を促した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西濃地区の交流大会・リーダー研修会への団員の参加や、認定員養成講習会・指導者研修会に指導者を派遣し、指導員の育成を図ることができた。 <p>②市民参加型スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山、下多度地区において各地区の役員とともに軽スポーツ大会を開催し、お年寄りから子どもまで多くの参加者があった。また、平田地区においては、地域スポーツクラブにより運動会が開催され、多くの市民の参加があった。 <p>④総合型地域スポーツクラブの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの地域スポーツクラブに対し、事務指導などの面において支援を行った。 <p>【課題】</p> <p>①スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や生活環境の変化などの影響により団員数の減少が見られ、新規の団員の確保が困難な状況にある。 <p>③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催する軽スポーツや運動会などの行事は、幅広い世代の市民を対象としており、高齢者や障がい者を含めたスポーツ活動としては、それらの関係団体との協議が必要である。 	
内部評価	B	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
施策	競技スポーツ活動の支援	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①指導者の育成と確保 ・研修の受講支援と指導者としての資質の向上に努めた。 ②選手の育成と強化 ・スポーツ競技への参加促進と競技力・出場意欲の向上に努めた。	
成果課題等	【成果】 ②選手の育成と強化 ・長良川 2020 東京五輪事前キャンプ誘致委員会において、PRチラシを作成し全戸配布した。また、オリンピック関連の委員その他の現地視察を受けた。 【課題】 ①指導者の育成と確保 ・スポーツ競技への参加人数の増加を図る必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標を達成できた C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	地域間交流の推進
------	----------

施策	地域間交流の推進	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	<p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霧島生徒交流事業（訪問団：生徒20名）は、今年度（受入・訪問）研修を実施した。 ・酒田市児童交流事業は、今年度（訪問団：19名）訪問研修を実施した。 	
成果課題等	<p>【成果】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、姉妹都市及び友好都市の児童・生徒交流活動については、互いの郷土を誇りに思い、友好親善が深まった。 <p>【課題】</p> <p>①交流教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両交流ともホームステイ型の交流のため年々参加者の確保が困難である、そのため交流プログラムの刷新や、市民への情報発信、日程等、今後の進め方に検討が必要である。 	
内部評価	A	<p>※評価の目安</p> <p>A…計画どおり又は計画以上の成果を得た</p> <p>B…概ね目標を達成できた</p> <p>C…課題を残し、目標も十分に達成できなかった</p>
担当課	社会教育課	

4 外部評価（学識経験者による意見）

岐阜大学名誉教授

岩田 恵司

海津市教育委員会点検評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の定めにより教育委員会から提出を受けた資料及び平成 28 年 10 月 4 日の教育委員の皆様との懇談をもとに意見を述べさせていただきます。

同法律第 26 条に定める教育委員会の点検・評価書作成に関して、教育委員会では同法第 23 条に定める、その職務権限にかかわる事業及び活動を事務事業評価表にまとめられました。ここでは、平成 26 年度から実施の海津市教育振興基本計画の達成目標に向けて、本年度事業計画の立案・事業結果・事業評価・次年度に向けての課題整理が適切に整理区分されております。

基本計画に挙げられている積み上げ型事業

- ①幼稚園・保育園の適正規模化の推進
- ②海津市教育スタンダードの構築
- ③中学校の適正配置
- ④学校施設の大規模改修、バリアフリー化、エアコンの整備

については、平成 31 年達成に向けての平成 27 年度事業計画の立案・実施が報告されています。

また、積み上げ型事業については、単年度事業計画に基づき適切に実施され成果が得られていることが点検評価書に記されており、今後の検討課題などについて教育委員の皆様と意見交流ができました。

新教育委員会制度の下、教育委員会の活動を、事業計画・事業報告・点検評価の形で報告することが広く市民の理解を得るうえで、極めて大切であると実感しております。

今後、特に、学校教育について考えてみますと、子供の教育の充実のため、行政、家庭、地域が一体となって取り組むために教育委員会や学校の活動の可視化の一環として点検評価を捉える仕方から視点を変えていく必要があると思います。協力や支援を受ける側とする側というようなものの捉え方をすべきではないと思います。例えば子供でも地域の一員として私には何ができるのかを考え、それを実行することが必要です。それを、子供や学校だけに任せることは誤りです。すべての人が自分では何ができるのかを考え行動しようとした時、行政、地域、家庭、学校が協力して意義ある活動の中に自分たちや、子供が位置づけられることが、将来を託す子供にとっても大切なことであると思います。協力して、より良いものを作り出していこうとする心こそが、命をつなぐということだと感じます。

平成27年度 教育委員会の事務に関する点検評価報告書

発行日 平成28年11月発行

発行元 海津市教育委員会

〒503-0695

岐阜県海津市海津町高須 515 番地

TEL 0584-53-1467 Fax 0584-53-1608

E-mail : kyoikusomu@city.kaizu.lg.jp